

COMMORE LIFESTYLE CATALOG #5

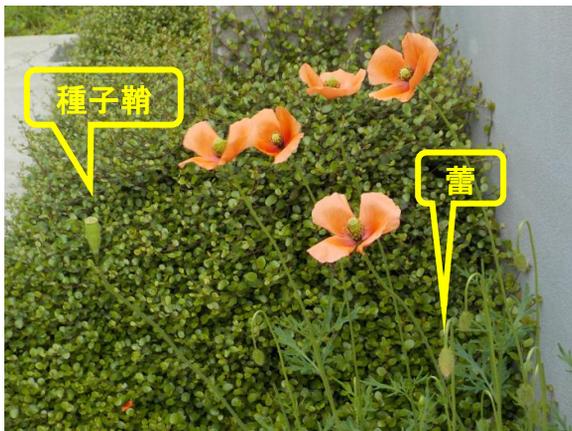
Buddy · Garden · Hobby · Scenery · Others

「庭のインベダー」 コモアでも見られる要注意な進入植物の話です

初夏の陽気となって庭や緑道周辺の植物の手入れに忙しい方も多いかと思います。そんな中で、植えてもないのに出てきた植物ってありますよね。雑草なら抜いてしまいますが、見た目は結構きれいだし・・・でも、そんな中には繁殖力が強くて生態系に影響したり、毒性を持っていたりと問題児も含まれています。今回はコモアでも普通に見られる、そんな外来植物を解説しましょう。

【オオキンケイギク】 5～7月に開花する植物でコモアでも数年前まであちこちで繁茂していました。2年前に自治会が注意喚起し、昨春には上野原市による大規模な除去が行われ、今年のコモアでは20号からの取り付きと周回道路の一部で目に付く程度まで減少しました。この種は特定外来生物にリストアップされていて「許可なく栽培・譲渡・野外放出など」を行うと、3年以下の懲役または300万円以下の罰金となってしまいます。コスモスのような花形で綺麗ですが、自宅の庭で栽培しないことはもちろん、見かけたら根から除去してくださいね。

【ナガミヒナゲシ】 こちらもこの時期に開花する植物です。下を向いた蕾、オレンジ色の儂げな花びらで、大切に育てたくなる雰囲気を出していますが、花後の種子鞘(芥子坊主)は空に向かって伸び上がり、1000～2000個の種子を放出します。発芽すると小さな個体でも花を咲かせるという早いサイクルのため、生態系への影響が心配されています。



ナガミヒナゲシの蕾・花・種子鞘

しかし、それ以上に問題なのは、この植物がアルカロイド系の毒性物質を分泌することで、皮膚の弱い人はかぶれる可能性が報告されています。ナガミヒナゲシは繁殖力旺盛、且つ有毒ですが、現在のところ特定外来種に指定されていません。私たちが充分注意して取り扱う必要がある植物と言えます。

【シンテツポウユリ】 シンテツポウユリは在来種のテツポウユリと台湾原産の外来種タカサゴユリのハイブリッドで、タカサゴユリの持つ「種子からも効率的に発芽する」性質を受け継いでいます。そのため、コモアでも様々な場所で発芽・開花しています。「こんな所に白いユリなんて植えてないよ」と思われたら、このシンテツポウユリの種子が風で飛ばされてきた実生苗の可能性が高いです。綺麗なユリですから花を楽しみ、咲き終わったら実が成熟する前に刈り取って廃棄するなど、不要な拡散を管理すると良いでしょう。



シンテツポウユリの実生苗

これらの他にもピンクの花が可愛いユウゲショウやアメリカオニアザミなど、繁殖力が強い外来種は私たちの周囲まで進入してきています。外来種が全て悪というわけではありませんが、気がついた時には手遅れ・・・にならないように注意して管理しながら美しい庭や緑道を造りたいですね。

詳細は以下参照： 環境省 日本の外来種対策
<https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつ住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブへのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方は街並み保全実行委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。